

患者向医薬品ガイド

2018年10月作成

ロサルタンカリウム錠25mg 「FFP」
ロサルタンカリウム錠50mg 「FFP」
ロサルタンカリウム錠100mg 「FFP」

【この薬は？】

販売名	ロサルタンカリウム錠 25mg 「FFP」 Losartan Potassium Tablets 25mg 「FFP」	ロサルタンカリウム錠 50mg 「FFP」 Losartan Potassium Tablets 50mg 「FFP」	ロサルタンカリウム錠 100mg 「FFP」 Losartan Potassium Tablets 100mg 「FFP」
一般名	ロサルタンカリウム Losartan Potassium		
含有量 (1錠中)	25mg	50mg	100mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・ この薬は、アンジオテンシンⅡ (AⅡ) 受容体拮抗薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・ この薬は、血管を収縮する作用のあるアンジオテンシンⅡと呼ばれる物質の働

きを抑えることで血圧を下げます。また、糖尿病による腎臓病（糖尿病性腎症）の悪化を遅らせ、タンパク尿を減らします。

- ・ 次の病気の人に処方されます。

高血圧症

高血圧及び蛋白尿を伴う2型糖尿病における糖尿病性腎症

- ・ この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・ 過去にロサルタンカリウム錠「FFP」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・ 妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・ 肝臓に重篤な障害がある人
- ・ アリスキレンを使用している糖尿病の人（ただし、その他の血圧を下げる治療を並行して行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）

○次の人は、慎重に使う必要があります。飲み始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・ 腎動脈狭窄のある人
- ・ 高カリウム血症の人
- ・ 腎臓に重篤な障害がある人
- ・ 肝臓に障害がある人、過去に肝臓に障害があった人
- ・ 脳血管に障害がある人
- ・ 体液（血液、尿など）量が減少している人
- ・ 高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ロサルタンカリウム錠25mg「FFP」	ロサルタンカリウム錠50mg「FFP」	ロサルタンカリウム錠100mg「FFP」
一日量	25～50mg ただし、症状により1日100mgまで増量されることがあります。		
飲む回数	1日1回		

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・腎臓に障害がある人やコントロール不良の糖尿病の人は高カリウム血症をおこすおそれがあるので、これらの人では必要に応じて血液検査がおこなわれます。
- ・2型糖尿病の糖尿病性腎症の人では貧血や血清カリウム上昇、血清クレアチニン上昇があらわれやすいので、これらの人では定期的に血液検査が行われます。特に、この薬とアンジオテンシン変換酵素阻害剤と呼ばれる薬を併用した場合、急性腎不全、高カリウム血症のリスクが増加するとの報告があります。
- ・一時的な血圧の低下（ショック症状、意識消失、呼吸困難等を伴う）があらわれることがあるので、そのような場合には、医師に連絡してください。特に、利尿降圧剤を使っている人や嚴重な減塩療法中の人、血液透析中の人では十分注意してください。
- ・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・手術前24時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでいないことを医師に伝え、医師の指示に従ってください。
- ・肝炎などの重篤な肝障害があらわれたとの報告があるので、吐き気、嘔吐、体がだるいなどの症状があらわれた場合には、速やかに医師に相談してください。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。
- ・この薬を使用中に妊娠が判明した場合は、ただちに医師に相談してください。
- ・妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や退治に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。
- ・授乳中の人には、授乳を中止してください。

薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。

《妊娠と薬情報センター》

（国立成育医療研究センター）電話：03-5494-7845

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。




重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシー アナフィラキシー	からだがだるい、ふらつき、意識の低下、考えがまとまらない、ほてり、眼と口唇のまわりのはれ、しゃがれ声、息苦しい、息切れ、動悸（どうき）、じんましん、判断力の低下
血管浮腫 けっかんふしゅ	まぶた・唇・舌のはれ、息苦しい、じんましん
急性肝炎 きゅうせいかんえん	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、皮膚が黄色くなる
劇症肝炎 げきしょうかんえん	発熱、意識がなくなる、意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、羽ばたくような手のふるえ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、判断力の低下
腎不全 じんふぜん	むくみ、全身のけいれん、貧血、頭痛、のどが渇く、吐き気、食欲不振、尿量が減る、無尿、血圧上昇
ショック ショック	冷や汗、めまい、意識がうすれる、考えがまとまらない、血の気が引く、息切れ、判断力の低下
失神 しっしん	気を失う
意識消失 いしきしょうしつ	意識がなくなる、考えがまとまらない、気を失う
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	脱力感、手のしびれ、手足のこわばり、足のしびれ、筋肉の痛み、赤褐色尿
高カリウム血症 こうカリウムけっしょう	唇がしびれる、手足が動きづらい、手足に力が入らない、手足のしびれ・まひ、筋肉が衰える、筋力の減退
不整脈 ふせいみやく	めまい、胸がドキドキする、胸の痛み、気を失う
汎血球減少 はんけっきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸（どうき）、あおあざができる、出血しやすい
白血球減少 はっけっきゅうげんしょう	発熱、のどの痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、皮下出血、出血が止まりにくい
低血糖 ていけつとう	ふらつき、脱力感、冷や汗、めまい、頭痛、動悸（どうき）、空腹感、手足のふるえ
低ナトリウム血症 ていナトリウムけっしょう	けいれん、意識の低下、頭痛、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、ふらつき、けいれん、冷や汗、発熱、脱力感、むくみ、貧血
頭部	意識の低下、考えがまとまらない、頭痛、めまい、意識がうすれる、意識がなくなる
顔面	ほてり、血の気が引く、鼻血
眼	眼のまわりのはれ、まぶたのはれ、白目が黄色くなる
耳	耳鳴り
口や喉	しゃがれ声、口唇のまわりのはれ、唇・舌のはれ、吐き気、嘔吐（おうと）、唇がしびれる、のどの痛み、のどが渇く、歯ぐきの出血
胸部	息苦しい、息切れ、吐き気、動悸（どうき）、胸がドキドキする、胸の痛み
腹部	食欲不振、吐き気
手・足	手足が動きづらい、手足に力が入らない、手足のしびれ・まひ、手足のふるえ、手足のこわばり、羽ばたくような手のふるえ
皮膚	じんましん、皮膚が黄色くなる、あおあざができる、皮下出血、むくみ
筋肉	筋肉が衰える、筋力の減退、筋肉の痛み
尿	尿量が減る、赤褐色尿、尿の色が濃くなる、無尿
その他	判断力の低下、気を失う、出血が止まりにくい、出血しやすい、血圧上昇

【この薬の形は？】

販売名	ロサルタンカリウム錠25mg「FFP」	ロサルタンカリウム錠50mg「FFP」	ロサルタンカリウム錠100mg「FFP」
PTPシート	<p>表</p> 	<p>表</p> 	<p>表</p> 
	<p>裏</p> 	<p>裏</p> 	<p>裏</p> 

販売名	ロサルタンカリウム錠25mg「FFP」	ロサルタンカリウム錠50mg「FFP」	ロサルタンカリウム錠100mg「FFP」	
形状	フィルムコーティング錠 (片面割線入り) 	フィルムコーティング錠 (片面割線入り) 	ティアドロップ形のフィルムコーティング錠 	
直径	5.6mm	7.6mm	長径 11.1mm 短径 7.6mm	
厚さ	3.1mm	3.5mm	4.5mm	
重さ	78mg	156mg	312mg	
色	白色	白色	白色	
識別コード	表	FF180	FF181	FF182
	裏	25	50	100

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ロサルタンカリウム錠 25mg「FFP」	ロサルタンカリウム錠 50mg「FFP」	ロサルタンカリウム錠100mg「FFP」
有効成分	日本薬局方 ロサルタンカリウム		
添加物	乳糖水和物、部分アルファー化デンプン、結晶セルロース、軽質無水ケイ酸、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、ヒドロキシプロピルセルロース、酸化チタン、カルナウバロウ		

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：共創未来ファーマ株式会社

(<http://www.kyosomirai-p.co.jp>)

お客様相談室

電話：050-3383-3846

受付時間：9時～17時

(土、日、祝祭日、弊社休日を除く)